

事業評価シート

担当課・室長：民間活動支援室長

事業名	環境NGO・企業等の環境活動の交流促進
上位施策名	環境パートナーシップの形成
1 事業の概要	<p>本事業は、民間活動支援の一環であり、                  ネットワーク形成の拠点業務（パートナーシップ促進事業）                  環境に関する情報及び各主体の取組に関する情報の収集・提供（情報センター事業）を行うものである。</p>
2 進捗状況	<p><b>パートナーシップ促進事業</b>                  プラザ/オフィスの施設及び人材により、環境パートナーシップ形成のための、会議室・ミーティングルームの無料貸出等の交流の場の提供、相談への助言、各主体間の環境保全活動の橋渡しを直接実施するとともに、全国の情報拠点との交流会を開催するなど、ネットワークを通じて全国の市民・NGO・企業・行政に対する環境パートナーシップの形成の促進・拡充に取り組んできている。</p> <p><b>情報センター事業</b>                  プラザ/オフィスにおいては、情報業務として、主に施設及びスタッフによるもののほか、月刊情報誌等を発行しており、環境パートナーシップ事例、イベント、セミナー、ボランティア、助成金等について広報活動を行っている。</p> <p>また、プラザのホームページ（地球環境パートナーシッププラザホームページ）を常に最新版に更新し、出版物・行事などの情報提供に努めている。平成12年度末には、新たなデータベース「環境らしんばん」を構築し、プラザでの入力から各団体による入力方式に切り替えて運用を開始し、NGO/NPO、企業、行政等団体について、それらの団体の概要、環境保全活動の日々の活動状況等の情報提供を行うとともに、パートナーシップ形成の促進を図るための交流フォーラムを開設することとしている。</p>
3 評価	<p>プラザ/オフィスを中心とした本事業は、平成8年度以来、NGO/NPOと200回を超える対等な協議を行いながら推進してきたものであるが、この試みは全国のNGO/NPOから高く評価されるとともに、本事業に参加されるNGO/NPO等の団体も非常に多く、国レベルのブリッジ機関として不動の地位を獲得している。</p> <p>具体的には、プラザ/オフィスの利用者は、年間で延べ約5万団体・人になる。</p> <p>また、直接コンサルテーション業務は、自治体、NGO/NPO、企業等団体を中心として年間約1500件、NGO/NPO、企業等の環境保全活動の支援（施設内外セミナー・イベント等）は年間250件について行っているところであり、各主体間の環境保全に関するパートナーシップの形成に大きく寄与している。</p> <p>月間情報誌「INFONET」の発行部数は毎月5500～6000部（FAX版は約1400件、E-mail版は1000件以上）であり、毎年2割増の伸びを示しており、市民、NGO/NPOから高い評価を得ている。</p> <p>ホームページについても毎月のヒット件数は約30万件にのぼっており、環境情報に特化したページとしては最大級の情報サイトである。このホームページで提供しているNGO/NPO、企業等団体のデー</p>

	<p>データベース・ファイルは約 2000 件に達しており、全国一であり、多くの市民、NGO/NPO に活用されている。</p> <p>しかし、行政、企業セクターに比べて市民セクターの力が相対的に弱いことがパートナーシップ形成を阻害しているとの認識のもと、設立以来 NGO/NPO への支援に重点を置いてきたため、企業セクターとの連携や情報収集などが相対的に弱く、課題である。</p> <p>また、対外的な業務量が年々 2 割程度増大しているため、業務の整理・発展（コンサルテーション等のレジューン・ベース・マネジメント、情報データベース入力を団体からの方式への切り替え、FAX 版情報発信の廃止等）により、スタッフ能力の向上、業務の効率化、経費の節減等を図るとともに、第 2 期事業に向けて業務の組み替え、補強等必要な体制を整える。</p>
4 予算事項名	・地球環境パートナーシッププラザ運営費
5 対応副施策等	